

第22号

令和3年2月15日発行

ないえ 議会だより

発行 北海道奈井江町議会 / 編集 広報常任委員会



主な記事

第4回定例会報告・臨時議会報告	p2~p3
町政 ここを問う（一般質問）	p4~p6
特別委員会報告	p7
常任委員会報告	p8~p9
移住者インタビュー	p9
浦臼町議会との交流会・各種委員会報告	p10



おもいやり明日へ
Kindness for Tomorrow



<http://www.town.naie.hokkaido.jp/gikai/>

奈井江町議会

検索

【議案審議結果】

■令和2年度一般会計補正予算（第9号）

人事院勧告による期末手当（▲0.05カ月分）の減額、ふるさと応援寄附金返礼品経費の増額等で2,164万円を追加し、総額55億5,885万円

※ ふるさと納税 … 11月25日現在 6,208万円の寄附をいただいております

■令和2年度下水道事業会計補正予算（第2号）

人事院勧告による期末手当（▲0.05カ月分）の減額分を予備費に計上

■令和2年度町立国民健康保険病院事業会計補正予算（第3号）

人事院勧告による期末手当（▲0.05カ月分）による120万円の減額

■奈井江町職員の給与に関する条例の一部改正

■特別職の給与に関する条例の一部改正

■奈井江町パートタイム会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部改正

■奈井江町フルタイム会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部改正

人事院勧告に伴う期末手当（▲0.05カ月分）の改正

（単位：カ月）

	現 行	改 正	改正後	摘 要
特別職（期末）	4.5	△0.05	4.45	
一般職（期末・勤勉）	4.5	△0.05	4.45	
会計年度任用職員（期末）	1.3	△0.025	1.275	R 3 は 1.9125
議員（期末）	4.15	—	4.15	管内で最下位

新型コロナウイルス感染症の地方創生臨時交付金の計画（変更）概要

住民に対する支援

●特別出産給付金 ……………… △60万円

事業所等に対する支援関係

●休業協力等支援金 ……………… △70万円

●商工会感染対策環境整備 ……………… 1,000万円

●飲食店消費拡大 ……………… 150万円

●医療・福祉・介護事業所給付金 ……………… △20万円

公共施設・防災備蓄等関係

●町立国保病院感染防止対策 ……………… 264万円

●スマホ収納導入 ……………… △136万円

●学びの継続支援 ……………… △409万円

●公立学校情報通信機器整備 ……………… △168万円

●防災活動支援 ……………… 250万円

●公立学校施設衛生環境改善 ……………… △653万円

●公設学習塾感染対策環境整備（新規） ………………（感染予防備品） ……………… 466万円

●公共施設感染予防対策（新規） ………………（衛生資材） ……………… 111万円

●公共的空間安全・安心確保 ……………… 651万円

●選挙事務感染防止対策（新規） ………………（投開票所の感染防止備品等） ……………… 526万円

●自治会館換気設備等設置 ……………… 180万円

合計 2,082万円

第4回定例会で審議された議案

「火葬場」…令和3年4月から砂川地区保健衛生組合が運営する「吉野斎苑」で共同利用

※使用料は、現行無料から他市町と同額1体「20,500円」を利用者負担

第4回定例会は12月9日から11日まで開催されました。提案された条例や補正予算、人事案などすべての議案を可決しました。

その結果、令和2年度一般会計予算の歳入歳出総額は55億3,961万円になりました。

(議会傍聴者6名)

【議案審議結果】

補正予算	令和2年度一般会計補正予算(第10号) コロナ関連地方創生臨時交付金事業の組替で2,082万円、定住対策補助金1,150万円、障がい児通所支援費550万円を増額し、後期高齢者医療保険負担金920万円、特別定額給付金572万円、下水道繰出金404万円、職員費等では人事異動等の精査で4,060万円を減額し、財政調整基金の繰入を1,966万円減額	全会一致
	令和2年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) システム改良に伴う委託料8万円を追加	
	令和2年度下水道事業会計補正予算(第3号) 消費税の精査で86万円増額	
	令和2年度町立国民健康保険病院事業会計補正予算(第4号) 人事異動等に伴う職員の人件費2,414万円減額 コロナ感染予防で車両購入196万円増額	
条例等	町税条例の一部を改正する条例 国民健康保険税の減額に係る所得基準の見直しの改正	全会一致
	後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例 地方税法の一部改正に伴う延滞金関係の改正	
	奈井江町議会議員及び奈井江町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例 公職選挙法の一部改正に伴い、選挙運動の公費負担に関し必要な事項を定めるための制定	
	砂川地区保健衛生組合同約の変更 火葬場施設に関する事務に奈井江町及び浦臼町が加入するための変更	
	奈井江町ほか3団体公平委員会規約の変更 奈井江、浦臼町学校給食組合の解散による脱退に伴う変更	
人事	人権擁護委員の推薦について 令和3年3月31日にて任期満了となる井澤 一美氏の後任に 別部 睦子氏の選任に同意	全会一致

【請願・意見書審査結果】

意見書名	提案者
コロナ禍による農業経済対策を求める意見書	竹森 毅議員

全会一致で可決し、内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣に提出しました。

町政 ここを問う

12月定例会では3人の議員が**一般質問**を行いました。

QRコードを読み取ることで一般質問の音声聞くことができます。

新庁舎に配置しない教育委員会

住民サービスの

低下にならないか



教育長

同フロアでの執務がスムーズな業務推進につながり、町民に不便はない



大関光敏

大関

庁舎の新築や検討中の他の市町村では、そのほとんどが庁舎内に教育委員会を配置している。

それぞれの町の事情はあると思うが、住民サービスの低下にならないか、又、他の課と一緒にの方が便利に気がするが、新庁舎に配置しない理由は。

教育長

平成22年より、町長と教育長との連携強化等々を目的に、教育長と事務局長、そして現在の教育支援係を役場に配置。一方、生涯学習を担い、図書館や社会教育センター施設の維持、管理を所管する文化振興係は、そのまま残る形での配置が行われ、現在に至っている。

今回、役場新庁舎建設の基本計画の策定に際し、教育委員会でもこの機会を捉え、委員会内部の上司、部下との命令伝達や職務推進の在り方、教育委員会内の2つの係りの横の連携、教

育委員会と町長部局との連携、そして何より住民、学校との連携について議論を行ってきた。

教育委員会における、町長部局各課との連携も委員会内部の連携に比較すると少なく、町民との関わりは学校を通じるものが多く、手続きなどもほぼ限定され、不便をかけることは殆どないものと考えている。

1つの課、組織は同じフロアで執務することがスムーズな業務推進につながり、住民サービスの向上や学校との連携に一番適切。又、現実的な問題として教育委員会の所掌事項に公民館や図書館等の施設管理があるため、公民館が望ましいとの結論を得た。

大関

新庁舎完成までまだ時間があるが、今後議論する機会はないのか。

教育長

校長、教頭会議でも既に周知済みであるし、内部での会議や、様々な委員会、懇談会でも反対意見がないことから、今の所変更はない。引越し作業については、新庁舎が令和6年、5月頃の予定の為、作業の分散を図るため令和5年度の雪のない時期を考えている。

改修箇所については、内部で今後検討を進める。



公民館外観写真

公共施設等の今後の 活用等について



町長 特に温泉は、課題整理を

しっかりと行い、見極めたい



篠田 茂美

篠田

「公共施設等総合管理計画」で、将来人口の推移や町民ニーズを踏まえ、選択と集中により施設総量の削減と再配置を進め、用途廃止施設は、民間への売買等の処分も促進するとなっている。

①旧消防庁舎や学校給食センター、東町児童館について、それぞれの活用等は、②温泉については、まちづくり懇談会や種々会合等を行っているが、問い合わせ

等を含めその後の動きについては。

町長

①学校給食センターと東町児童館は、今年度用途廃止し、現状のまま利用できる給食センターについては、防災備蓄倉庫の活用ができないか検討中。

他の施設は、老朽化も進んでおり、除却を検討して



いるが、財源確保が課題であり、改めて整理しなければならない。

②まちづくり懇談会や商工会とのタウンミーティング、老人クラブ代表者等と懇談し、温泉再開に対する賛否両方の意見を聞かせていただいた。

今後多くの意見聴取に努め、課題の整理をしっかりとやった上で方向性を見極めていきたい。

問い合わせは、町外事業者から電話で1件、施設内の見学は4件、いずれの事業者からも、その後具体的な話はない。

新型コロナウイルス感染症 に対する町の支援は

町長 臨時交付金を有効活用し、
予防事業推進に努める

篠田

連日報道等で感染情報や注意喚起がされ、町では道からの情報等を町民に知らせ、不安払拭にも努めている。

①国の臨時交付金を活用した対策事業の進捗状況については

②感染した場合の町のサポ

ートについては（検査・消毒費用に対する支援）

町長

①進行中の事業もあるが、事業者応援給付金は、12月8日現在の申請者数が60事業者、給付総額2,040万円、執行率は51%。プレミアム付商品券発行事業

は、12月7日現在の購入率が61・3%となっており、臨時交付金の有効活用、迅速な事業推進に努めている。

②町の役割は、住民に感染症の正しい知識を伝え、感染の予防方法や相談窓口の周知を図ること。

また、保健所からの要請があった場合に、感染拡大予防の対応として、感染者の方、もしくは感染への不安を抱える住民の方への対応を適切に行う。

国や道と連携し、感染者等へのサポートや、感染拡大防止への対応を行っている。

保健所の行政検査の対象となれば、自己負担は初診料だけとなる。



今後の議員定数、議員報酬は 議員報酬等の検討始まる !!

議員報酬等の在り方に関する 調査特別委員会中間報告

委員会開催日 11月13日

調査内容 ○期末手当の対応について

○長期休職時の議員報酬の減額について

○議員定数について

○議員報酬について

○議員研修について

期末手当据え置き

毎年検討し人事院勧告とは別に独自に判断して来たところであり、現在は4・15カ月支給している。

人事院勧告では0・05カ月引き下げの4・45カ月であり近隣町も同様の支給をしており、格差が大きいことから今回は据え置くこととした。

今後の人事院勧告の対応については、議員報酬を検討する中で協議する。

長期休職時の議員報酬減額を条例化

長期休職しても返納できないこと、各町村で条例制定が進んできていることから、町民に説明できるように条例制定して対応することとした。

条例案については議会運営委員会で検討し、令和3年第1回定例会に提案出来るよう進める。

議員定数は現状維持

平成27年より9人体制で取り組んできた。昨今、道内でも8名の議会が増加してきているが、いずれも小規模自治体であること、定数削減は議会活動の低下も考えられることから現時点では取り組まない。

議員報酬は改選までに結論

議長の資料、他の議会の状況などを見ても、確たる論拠がないのが実情で、早急に結論を出すことはできないが、次年度において、奈井江町にふさわしい報酬の在り方の方向性を出し、町民の理解と意見を伺いながら時期改選に間に合うよう進めていくこととした。

議員研修公費負担で実施

平成19年度より議長の研修以外は自費で対応してきたが、近年研修が減ってきている。

現地に出向いて生の声、雰囲気を知ること、研修は大変重要なことであることから、公費負担で取り組めるよう検討することにした。

自治体名	議員月額報酬	議員定数	人口 R1.7.1
奈井江町	174,000円	9人	5,389人
浦臼町	177,000円	9人	1,810人
雨竜町	175,000円	9人	2,361人
上砂川町	185,000円	9人	2,930人
新十津川町	215,000円	11人	6,558人
由仁町	186,000円	10人	5,116人
長万部町	175,000円	10人	5,354人
鹿追町	205,000円	11人	5,362人
歌志内市	270,000円	8人	3,203人

まちづくり 常任委員会 所管事務 調査報告

保健業務について



関係機関と連携し、

取組の実施を

調査内容

保健師業務実績・計画・母子保健事業・感染症予防対策・成人保健施策・介護予防施策について

問 コロナ禍で、今後の高齢者の家庭訪問の進め方は

答 R2年2月から保健事業を中止してきたが、7月から再開。個別訪問も感染予防対策を取りながら、必

要性のある方は冬場に再開したい。

問 疾病予防に関する意識の普及啓発は

答 様々な対策を講じ、情報も流しているが、まだまだ不十分と考える。

問 思春期教室はどの様に行われているか

答 中学、高校、各学年の状況に応じて、色々工夫して、男女一緒に行っている。

【委員会からの意見・要望】

本町の保健業務は、それぞれのライフサイクルに沿った市民の方に切れ目なく保健活動を実施している。

中学、高校で実施している思春期教育や、5歳児健康相談も大変重要であり、今後も関係機関や保護者と連携し取り組みの充実を期待する。

コロナ禍にあつて高齢者の引きこもりが心配だが、心身の健康を保てるよう声かけなどの継続を願う。

認定こども園の
管理運営について

特色ある
保育活動の継続を

調査内容

奈井江町保育の状況・入所状況・職員の配置状況・一時保育月別利用者数・保育料・特色ある教育・保育について

問 職員の配置状況は

答 14名で定員は120名（現在119名入所）

問 今年度、看護師2名が配置されたが、役割は

答 2歳児、5歳児のクラス担任の補助、又、園児全体の健康管理。

問 体格的には伸びているが、運動能力の低下が

問題では

答 各クラスできめ細やかな対応をしているが、運動発達を促進されるよう手だてを検討する。

問 年長児にプール授業を取り入れては

答 様々な課題があるが、前向きに検討する。

【委員会からの意見・要望】

運営面では、ALTを活用した英語教育、好き嫌いをなくす食育活動、中学校体育教師による運動指導など、特色ある保育の実践を評価する。

コロナ禍で対応には苦慮されていると思うが、今後も特色ある保育活動を継続して取り組んでいただきたい。

待機児童については、近隣市町とも連携し、保護者ニーズを捉えたきめ細かな運営に努力願う。



土地改良事業について

予算確保に 努力願う

調査内容

道営土地改良事業・進捗状況、費用負担、完了地区概要について
新規採択要望地区概要について
(現地調査実施)

問 現在の標準的な工事単価は

答 直近の地区については、10アール当たり、120～150万円で推移基本的な農家負担は、75%。

問 工事業者の働き方改革の状況は

答 業者も、週休二日制の推進等、働き



方改革が進んできており、工期も発注段階でそれを加味した工期設定になっている。

【委員会からの意見・要望】

本町農業における土地改良事業は、生産性の高い農地整備、良質米の生産を確かなものにし、競争力を高める重要な事業である。

今後の農業を担う受益者の要望を十分把握しながら、新規要望地区の早期採択に向け、継続的に円滑な事業の推進、農家負担軽減を含めた予算確保に向けて努力願いたい。

ようこそ奈井江町へ

定住・移住施策の成果により奈井江町へ移住する方が増えています。
今回は花見さんファミリーを紹介します

岩見沢市出身で岩見沢農業高等学校を卒業し、就職で砂川へ引っ越してきました。借りていた家にネズミが出た事がきっかけで、家の購入を考えました。

岩見沢市出身で岩見沢農業高等学校を卒業し、就職で砂川へ引っ越してきました。借りていた家にネズミが出た事がきっかけで、家の購入を考えました。

祖母が奈井江町出身であることや札幌、旭川への交通アクセスが良いことが決め手となり、奈井江町に移住してきました。

実際に住んでみると静かで暮らしやすく、趣味や買い物で札幌にはよく行きますが、人が多いところには住みたくない私たちにとっては、本当に過ごしやすい町です。



花見さん
ファミリー

浦臼町議会

との交流会

浦臼町・奈井江町議会議員交流会を開催

日程 令和2年11月6日

場所 奈井江町文化ホール

交流談話室

北海道町村議会議長会事務局長村川寛海様を講師にお招きし「求められる議員活動と定数・報酬の考え方」と題し講演をいただき、一般質問、議員定数、議員報酬、議会モニター等についての意見交換を行いました。

当議会として特別委員会を設置しており、今後議員報酬等について学ぶ良い機会となりました。今回の研修を参考にし充分協議してまいります。



委員会報告

Committee Report

議会運営委員会報告

11月26日

・第6回臨時会について

12月4日

・第4回定例会の議会運営について

12月9日

・追加議案について

12月16日

・長期休職時の議員報酬の減額について

1月7日

・長期休職時の議員報酬の減額について

広報常任委員会報告

議会だより21号（11月15日発行）編集のため4回の委員会を開催

全員協議会報告

11月6日

・町からの報告事項

11月26日

・第6回臨時会について

12月2日

・第4回定例会の議案説明について

12月9日

・第4回定例会の議会運営について

12月11日

・一部事務組合等の議会報告について



第1回定例会（予定）

■日程 3月3日（水）～3月16日（火）

■場所 役場3階議事堂

どなたでも傍聴できます。お気軽にお越しください。

問い合わせなどは議会事務局まで



65-2166



gikai@town.naie.lg.jp



表紙の1枚
こども園での餅つきの
ようすです。

編集後記

昨年は、新型コロナウイルス感染症が全世界で猛威を振るい、東京オリンピックの延期や皆さんが楽しみにしていた各種行事等も中止になり、我慢することを余儀なくされた1年でした。

人や物が動かないことは、全世界の経済、あらゆる産業に波及し、人の雇用の場にまで影響を与えています。

いち早く終息することを切に願うところであり、皆さんの協力が大切だということを改めて実感したことと思います。

地方財政も厳しい状況下に変わりませんが、今だからこそ町の公共事業を展開し、少しでも町がにぎわうような新年度予算に期待したい。

発行 奈井江町議会 編集 広報常任委員会

委員長 遠藤 共子
副委員長 笹木利津子
委員 大関 光敏
篠田 茂美